

大会参加・研修報告書			
1. 大会・研修会名	第16回 九州女性審判研修会（唐津自動車学校旗高校生バスケットボール大会）		
2. 研修期間	平成31年3月9日（土）～10日（日）		
3. 参加者	片岡 瑞季（島原）、松本 加奈（大村）、池田 美紗子（長崎）、 吉村 愛菜（長崎）、山本 美月（佐世保）、久原 裕未（佐世保）		
4. 日程	《9日（土）実技研修及び講義》※全て2POで実施、3会場にて大半の方が2ゲーム担当		
	片岡 瑞季	松本 加奈	吉村 愛菜
	①男子トーナメント1回戦 CC U1：村上明香（熊本） ②男子トーナメント敗者戦 CC U1：木崎弘恵（大分）	①男子トーナメント1回戦 U1 CC：萩原春乃（福岡） ②男子トーナメント敗者戦 CC U1：白石彩華（佐賀）	①男子トーナメント1回戦 CC U1：西村茜（佐賀） ②男子トーナメント敗者戦 CC U1：成林礼彩（佐賀）
	池田 美紗子	久原 裕未	山本 美月
	①女子トーナメント1回戦 CC U1：弓削佐知子（宮崎） ②女子トーナメント敗者戦 CC U1：古賀日花里（福岡）	①女子リーグ CC U1：前原早希（福岡） ②女子リーグ CC U1：名城真由美（沖縄）	※2日目からの参加
	■唐津南高校に集合し、講義・ディスカッションを実施 『女性審判の現状と課題』講師：中西 波穂（熊本県S級）		
	《10日（日）実技研修》※全て3POで実施		
	片岡 瑞季	松本 加奈	吉村 愛菜
	①男子1位トーナメント 決勝 CC U1：有働千夏（熊本） U2：林瀬由依（福岡）	①女子1位リーグ U2 CC：釘本聡子（佐賀） U1：倉本明香（福岡）	※初日のみの参加
	吉村 愛菜	久原 裕未	山本 美月
①男子2位トーナメント 準決勝 U1 CC：角田杏子（鹿児島） U2：北村朋美（佐賀） ②男子2位トーナメント 敗者戦 U1 CC：林瀬由依（福岡） U2：古賀日花里（福岡）	①男子1位トーナメント 準決勝 CC U1：萩原春乃（福岡） U2：村上明香（熊本） ②女子1位リーグ U2 CC：村田南美子（宮崎） U1：平田理紗（福岡）	※聴講生として参加	
5. 講義内容	<p>■『女性審判の現状と課題』講師：中西 波穂（熊本県S級）</p> <p>※所属県や年代、カテゴリーが混在するように5～6名ほどの5グループを事前に編成</p> <p>①講師の紹介（これまでの審判活動の現状、産後の苦勞、女性分科会についてなど）</p> <p>②グループ内で自己紹介（カテゴリー、審判活動の経験、自身のストロングポイントとウィークポイントなど）</p> <p>③グループ内でディスカッションのテーマを決める</p> <p>④テーマを全体で共有</p> <p>⑤ディスカッション（テーマに対する自分たちの課題と解決策を討議）</p> <p>⑥全体で意見を共有</p> <p>⑦総括（講師：中西氏より）</p> <p>⑧窪田先生、紀伊先生より</p>		

6. 所感

【片岡 瑞季】

今回も九州から沢山の女性レフリーが集まり、初めての方も参加されていました。それぞれが意識高く、課題をもってレフリーされていました。現在、女性レフリーでもBリーグを担当するなど、多くの方がトッリーグで活躍されています。この研修会で多くの方と交流を深め、また来年度に向けた目標を再確認できたのと同時に、しっかり県内でも女性レフリーを増やしていけたらなと強く思いました。大変内容の濃い2日でした。

窪田先生、紀伊先生をはじめ佐賀県バスケットボール協会のみなさまに大変感謝いたします。ありがとうございました。

【松本 加奈】

初めての県外派遣ですごく緊張し、私が参加してもよいのかと不安もあったが、2日間、とても充実した研修になった。同時に自分の審判員としての未熟さを痛感させられた。審判員としての取り組み方、意識の持ち方など、とても良い経験となった。今回の経験を今後の審判活動に活かしていきたい。

【吉村 愛菜】

県内で活動している女性は少なくないが、なかなか自分の悩みやほかの方の悩みを聞く機会がなかった。今回の研修で他県の方々との交流を通じて、自分から行動することの大切さを学ぶことができた。ゲームに臨むにあたって、自分から積極的に課題解決のために行動すれば、改善策や新たな課題に気づくことができると思った。自分自身、自信がないことが原因で活動の機会を与えていただいても、積極的に行動することができないことが多かった。しかし、本研修を通して、自分から情報を求めて行動することが大切であるということを知ることができたので、今後の活動に生かしていきたいと思う。

今回の派遣にあたって、お世話になった方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

【池田 美紗子】

この研修会に参加して、私はPGCの行い方、プライマリ意識の重要性、女性審判の現状と課題等多くの事を学ばせていただきました。この研修会では毎回多くの女性審判の方と情報交換させていただき有意義な時間を過ごさせていただいておりますが、今回は講義の中にグループディスカッションが取り入れられており、女性審判特有の悩みをより深く話し合う機会を与えていただきました。自分が抱えていた悩みが自分だけでなくみんな感じていたことだったと知れたこと、また、自分一人では解決策が思い浮かばなかったであろうことがみんなでも考えることで解決できたり、解決に近づくことができたりして、気持ちが軽くなりました。これから一人で抱え込まず周りに吐き出し、しかし、愚痴で終わるのではなく今後につながるように考えていきたいと感じました。

最後になりましたが、今回お世話になりました窪田先生をはじめ、講師の皆様、佐賀県バスケットボール協会、派遣して下さった長崎県バスケットボール協会、県審判委員会、平素よりお世話になっている関係者の皆様全ての方に、感謝申し上げます。そして学んできたことを自分だけではなく、周りにも還元していき、長崎県バスケットボールの発展に役立てるよう、これからも精進していこうと思います。ありがとうございました。

【山本 美月】

派遣が決まってから、所属地区の審判長への連絡を行い、派遣していただく感謝と心構えを伝えることが大切だと学びました。今回、自分にできることや足りないことを肌で感じて、今後の活動に生かせるように多くのことを吸収し、持ち帰ろうと心構えをしていきました。

2日目のみの参加だったため、聴講という形で参加しました。3POのメカニクスを覚えることはもちろん、力強いプレゼンの仕方、正確な判定につながる見方、自分に足りないことは何か、自分がオンザコートにいたらどうとらえるかなどを考えながら試合を観戦しました。観戦でも反省会でも、自分なりの意見や考えをもって意見交換をすることが、今後の成長につながるのだと感じました。また、コート外での気配りも大切に、素早く行動することがとても大切だと感じました。

まだまだ力不足なことが多く、悔しいと感じましたが、いつかこんな風になりたいとはっきりとした目標を持つことができました。県外に出て上級の女性審判の方々にとっても大きな刺激をもらうことができました。派遣していただいたことに感謝し、今回のことをもとにこれから審判の面も気配りの面も人間性もスキルアップしていきたいです。これから経験と研鑽を積み重ね、私も上級の審判になれるように頑張りたいと思います。

【久原 裕未】

3年ぶりの参加で、非常に感慨深いものがあった。今回学んだことを地元で発揮することで還元していきたいと思う。今回、CCとして、上級を目指す審判としての課題や目標を具体的に持つことができた。また、女性分科会というものをどのように周知していくか、一女性審判員として何ができるかを追求していきたいと思う。女性ということにとらわれすぎてはいけないと思うが、県内で審判資格を持つ女性審判が、少しでも活動しやすい環境づくりや人間関係づくりができるように、できることから行動に移していきたいと思う。

このような研修会に派遣していただけることに感謝し、謙虚な気持ちで臨んでいきたい。また、諸先輩方から学んだことを、後輩たちにも伝えていくことが自分の役割の一つだと思うので、自分の人間力を磨きながら、コート内外で学ぶ姿勢を大事にしていこうと思う。学ぶ機会をいただき感謝しています。ありがとうございました。